

四條畷市自動運転基本構想・実施計画（田原地域） 一概要版一

基本構想

■田原地域をとりまく課題

人口動態	人口減少・高齢化への対応
財政状況	民生費の縮減に資する健康寿命延伸に向けた未病対策
地域外移動	自宅付近からバス停までのアクセス手段の確保
地域内移動	拠点間を中心としたきめ細かな移動支援サービスの提供

■田原地域における自動運転サービスの導入に向けた方向性(案)

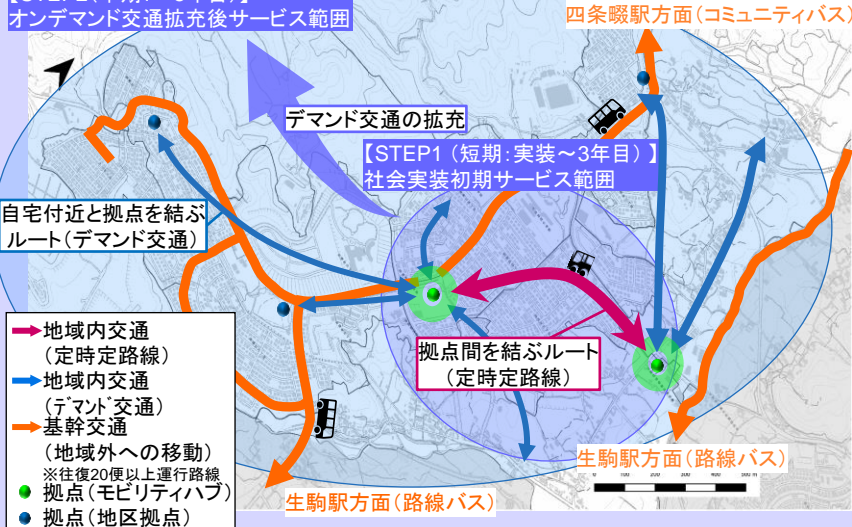
高齢化の進展により交通不便となる地域の人々の移動（外出機会）が減少しないように、新たな技術を積極的に取り入れ、持続可能な移動サービスを提供するために自動運転車を導入

地域の拠点となる「グリーンホール田原」と「田原台センター」をモビリティハブとして、拠点間の移動支援や自宅付近からバス停や拠点までのファースト/ラストワンマイルの移動サービスを提供

生活道路や高低差のある地域内をきめ細やかな移動支援を行うことから、地球環境にも配慮した低速型小型自動運転車（EV車）を活用

【STEP2(中期:~5年目)】

オンデマンド交通拡充後サービス範囲

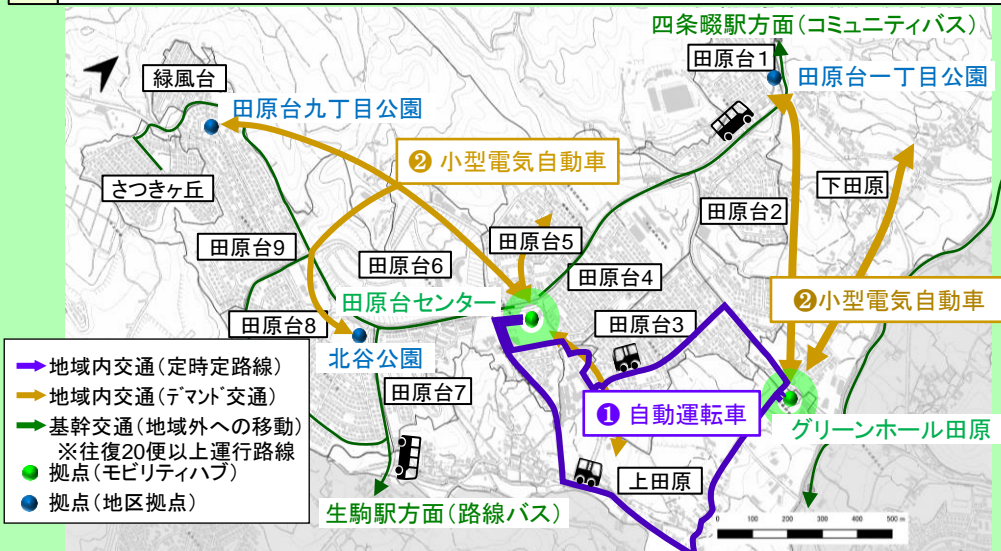


長期的(~20年目)には西部市街地への横展開をめざす

実施計画

■令和4年度実証実験の概要

実験趣旨	✓ 内閣府未来技術社会実装事業に選定された内容に基づき、令和3年度には、校庭内における自動運転のデモンストレーション走行・公道での手動走行による乗車体験を実施
	✓ 地域課題の解消に向けて前年度の結果及び、地域の意見を踏まえ、自動運転サービスの導入に向けた課題を把握



○運行ルート

- ①自動運転車(10時~16時)
グリーンホール田原と田原台センターを結ぶ道路
- ②小型電気自動車(10時~16時)
グリーンホール田原または田原台センターと各地区(公園等)を結ぶ道路

○運行形態

- ①自動運転車
定時定路線運行により、拠点間の連携強化を図る
- ②小型電気自動車
デマンド運行により、自宅付近等とのファースト/ラストワンマイルの確保を図る

○その他の取組 (拠点性の向上)

自動運転サービスの導入と合わせ、拠点のモビリティハブ化や賑わい創出の可能性を検討

拠点性向上のイメージ

車両イメージ(①自動運転車)

自律型の自動運転機能付の自動運転車を想定

出典 | 国土交通省:2040年、道路の景色が変わる